

2019年12月14日～2019年12月20日

2019年12月23日

## 先週の回顧

ブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに小幅に上昇しました。また、2年国債金利は上昇しました。

年末の薄商いからブラジル・レアルは小幅な推移となりました。中央銀行から四半期インフレ見通しが発表され、その中で2020年のGDP（国内総生産）成長率が前回の1.8%から2.2%に引き上げられたことがブラジル・レアルの上昇要因となりました。

経済指標に関しては、12月のIPCA-15インフレ率が発表されました。発表されたインフレ率が市場予想を上回る内容となったこと、2020年の経済成長期待が高まったことなどが、金利上昇要因となりました。

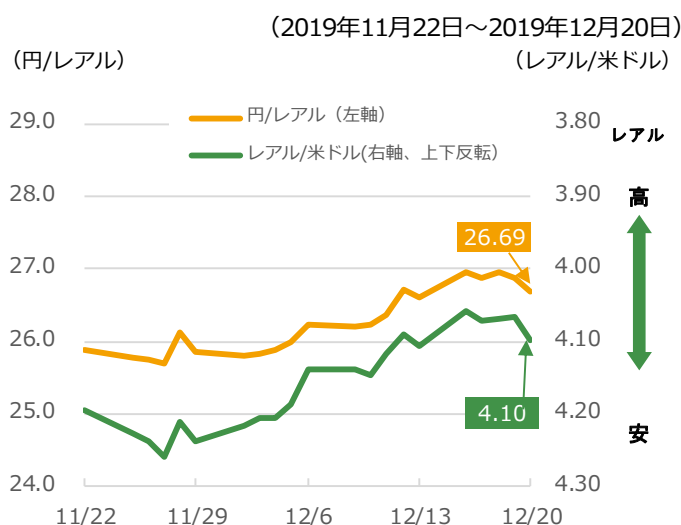
## 今週の見通し

今週は失業率や各種インフレ率などの経済指標の発表が予定されています。

ゲデス経済相は18日（現地）にアルコルンブレ上院議長、マイア下院議長と会合を行い、2020年上期の税制改革法案承認を目指して上下院合同委員会の設置を決定しました。上下院合同委員会は90日間の期間限定として国会休会中にも稼働し、カーニバル明けの下院議会での投票を目指します。

2020年のブラジル金融市場はこれまで2018、2019年と2年連続で当局の見通しを大幅に下回った経済成長が、3度目の正直で見通し通りとなるか、また年金改革に続いて税制改革法案が承認されるかに注目が集まりそうです。

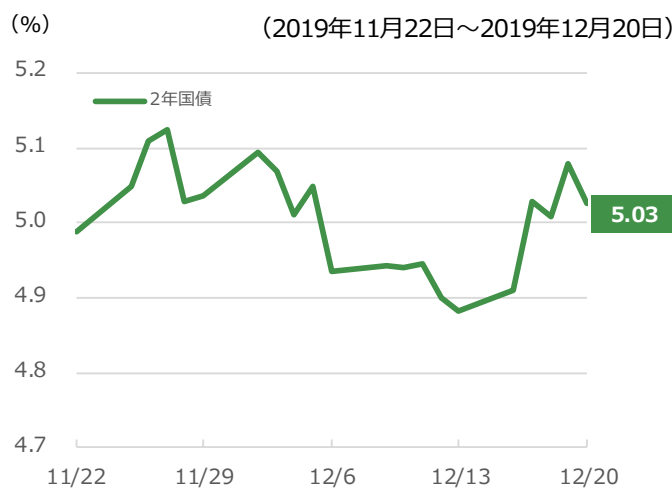
## ブラジル・レアル 為替推移



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

## ブラジル 金利推移



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。